

●歯科保存学第1講座 Department of Endodontics

1. 所属構成員等

准教授	北島佳代子, 佐藤友則(併任)
講師	新井恭子
助教	湊 華絵
客員教授	田久昌次郎
非常勤講師	宮本美智子, 石黒仁和子, 大石繁康, 渡辺 学, 北野芳枝, 朝比奈壯郎, 五十嵐 悟, 木村正子, 三好敏朗, 貝津 徹, 井野場朗子, 松田浩一郎, 山田理絵

2. 研究テーマ

1. 歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患に関する細胞の生物特性に関する研究 Research on biological properties of cells related to pulpal and periapical disease
2. 歯髄と根尖歯周組織の創傷治癒に関する病理組織学的研究 Histopathological study on healing of the dental pulp and periapical tissue
3. Ni-Tiファイルによる機械的拡大形成に関する研究 A study of root canal preparation using Ni-Ti rotary files
4. 機械的根管拡大時に使用する小器具の金属疲労に関する研究 Research on metal fatigue of instruments during biomechanical root canal preparation
5. 歯根膜内マラッセ上皮残遺の分布と機能に関する研究 Research of distribution and function of Malassez epithelium in PDL
6. 頭頸部重層扁平上皮癌のstem cellに関する研究 The role of stem cells in head and neck squamous cell carcinoma formation
7. 歯内治療実習用模型の開発に関する研究 A Study of artificial laboratory model with the anatomical morphology and root canal system for preclinical Endodontic training
8. マルチメディアIT機器を活用した歯内治療教育法開発 Development of education system for Endodontic practice using with malutimedia IT apparatus
9. 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療経過に関する臨床的・エックス線的観察 Clinical and X-ray following up concerning healing of pulpal and periapical disease
10. 歯根未完成歯無髓歯に対するリバスクラリゼーション後の創傷治癒に関する病理組織学的研究 Histopathological study of healings after revascularization of immature pulpless tooth
11. 垂直性歯根破折を伴う歯の保存治療に関する研究 Research of conservative treatment for the tooth with Vertical Root Fracture (VRF)

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

学会賞

記載事項なし

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

1. 北島佳代子は、Center for Cancer Biomarkers CCBIO and Gade Laboratory for Pathology, Department of Clinical Medicine, University of Bergen の Prof. DN Costea と歯根膜から分離したマラッセ上皮残遺の上皮細胞の特性に関する研究を継続中である。
2. マヒドン大学からの4名のレジデントに対し、日本における歯内療法学に関する最新の機械器具・薬剤を提示しながら新しいテクニックについて教示した。

7. 外部研究費

1. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), (継続), 2017-2019年度, 根未完成失活歯に象牙芽細胞活性化因子を併用した血管再生療法の根管壁硬組織再生, 北島佳代子(代表), 五十嵐 勝, 新井恭子(分担), 910000円
2. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究, (継続), 2018-2020年度, pulp revascularizationの新生組織形成機構の免疫組織学的解析, 湊 華絵(代表), 936000円

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

記載事項なし

C. 解説・総説

記載事項なし

D. 報告・紀要

1. *Igarashi M, Kitajima K, Arai K, Satoh T. Survive for split tooth by intracanal adhesive with intentional replantation. ○◇J Clin Dentistry Oral Health . 2019; 3: 6-10.doi : 10.35841/oral-health.3.2.6-10.
2. *Kitajima K. Consideration about long-term process of dental pulp conservative treatment for the coronal pulp widely replaced with hard tissue. ○◇Oral Health and Care. 2019; 4: 1-4.doi : 10.15761/OHC.1000188.
3. *Kitajima K, Arai K, Yokosuka T, Satoh T, Kitano Y, Asahina T, Miyoshi T, Igarashi M (7,8th) (8 authors) . Root-end restration using MTA against the intractable cases of root canal treatment. ○◇Open J Dentistry and Oral Health. 2020; 2: 1-7.doi : 10.36811/ojdoh.2020.110005.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 北島佳代子. 高齢化社会に多発する狭窄根管へのアプローチ. 日本歯内療法学会研修会講演会, 富山市, 2019年5月12日
2. 北島佳代子. ステンレススチール (SS) ファイルとニッケルチタン (NiTi) ファイルを上手に使い分ける～現代人の根管にマッチした歯内治療のテクニック～. 静岡県日本歯科大学校友会総会 学術講演会, 静岡市, 2019年5月18日
3. 清水公太、湊 華絵、山田理絵、新井恭子、北島佳代子. ラット歯根未完成歯に内部吸収を生じたリバスクラリゼーションの1例. 第40回日本歯内療法学会学術大会, 東京都, 2019年6月15日
4. 佐藤友則. 歯内治療は基本が大事 -基本的操作の再確認と潮流-. 福井県日本歯科大学校友会総会 学術講演会, 福井県あわら市, 2019年6月15日
5. 山田理絵、湊 華絵、清水公太、新井恭子、北島佳代子、五十嵐 勝. ラット歯髄由来細胞を用いた意図的再植歯周囲の組織再生に関する組織学的観察. 日本歯科保存学会春季大会(第150回), 石川県金沢市, 2019年6月27日
6. 湊 華絵、清水公太、山田理絵、新井恭子、北島佳代子. ラット歯根未完成歯の抜髓例とリバスクラリゼーション例の組織学的観察. 日本歯科保存学会春季大会(第150回), 石川県金沢市, 2019年6月27日
7. 北島佳代子. 高齢化社会に多発する狭窄根管へのアプローチ～進化した根管治療の現状～. 岐阜県日本歯科大学校友会総会 学術講演会, 岐阜市, 2019年7月7日

8. 北島佳代子, 新井恭子, 湊 華絵, 佐藤友則, 横須賀孝史. 齒内治療基礎実習における口腔内カメラを用いた人工歯の実習評価. 第38回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 福岡市, 2019年7月19日・20日
9. 小出勝義, 長田敬五, 井口麻美, 葛城啓彰, 佐藤友則, 中原 賢, 二宮一智, 水谷太尊, 関本恒夫, 藤井一維. 教員相互授業参観に対する教員の意識. 第38回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 福岡市, 2019年7月19日・20日
10. 新井 恭子、湊 華絵、佐藤 友則、横須賀 孝史、松田 浩一郎、清水 公太、北島 佳代子. フルレンジステクニックを用いたNi-Tiロータリーファイルと手用ステンレススチール製ファイルでの彎曲根管の拡大形成に関する比較. 日本歯科保存学会秋季大会(第151回), 福岡市, 2019年11月8日
11. 清水公太、佐藤友則、新海航一. 垂直性歯根破折歯の接着修復法における各種歯面処理の検討. 令和元年度大学院研究中間発表会, 新潟市, 2019年12月12日

8-G 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし